

令和7年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	4単位
学科・類型		普通科Ⅱ・Ⅰ類		学年	第2学年
使用教科書		『日本史探究』（実教出版）			
使用副教材等		浜島書店『詳細日本史』 数研出版『4ステージ演習ノート日本史』			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	歴史学を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	第1部第1章 日本文化のあけぼの 第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 第3章 律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黎明期の日本列島の変化に着目して，原始社会の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現させる。</li> <li>・国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に，古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。</li> <li>・中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して，主題を設定し，小国の形成と連合，古代の国家の形成過程について，多面的・多角的に考察し，表現させる。</li> <li>・律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に，古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。</li> <li>・中国大陸・朝鮮半島との関係，隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して，主題を設定し，古代の国家の形成過程について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。</li> </ul>
2 学 期	第4章 古代の国家・社会の変容 第2部第1章 荘園公領制の成立と院政 第2章 中世の国家・社会の展開 第3章 中世の国家・社会の変容 第3部第1章 東アジアの世界の変容と天下統一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴族政治の展開，平安期の文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解させる。</li> <li>・地方の諸勢力の成長と影響，東アジアとの関係の変化，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，古代の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。</li> <li>・貴族政治の変容と武士の政治進出，土地支配の変容などを基に，古代から中世への時代の転換を理解させる。</li> <li>・権力の主体の変化，東アジアとの関わりなどに着目して，古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現させる。</li> <li>・時代の転換に着目して，中世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現させる。</li> </ul>
3 学 期	第2章 幕藩体制の成立と展開 第3章 近世の国家・社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法や制度による支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係，技術の向上と開発の進展，学問・文化の発展などを基に，幕藩体制の確立，近世の社会と文化の特色を理解させる。</li> <li>・織豊政権との類似と相違，アジアの国際情勢の変化，交通・流通の発達，都市の発達と文化の担い手との関係，社会・経済の仕組みの変化などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。</li> <li>・産業の発達，飢饉や一揆の発生，幕府政治の動揺と諸藩の動向，学問・思想の展開，庶民の生活と文化などを基に，幕藩体制の変容，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成を理解させる。</li> </ul>

令和7年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	4単位
学科・類型		普通科Ⅱ・Ⅰ類		学年	第2学年
使用教科書		世界史探究(実教出版)			
使用副教材等		世界史探究マイノート(実教出版) ニューステージ世界史詳覧(浜島書店)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開について、地理的条件や日本の歴史と関連付けて、広く深く探究する。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先史時代</li> <li>・古代オリエント</li> <li>・古代ギリシア</li> <li>・古代ローマ</li> <li>・前漢・新・後漢</li> <li>・三国時代～唐の滅亡</li> <li>・古代インド・東南アジア</li> <li>・殷・周・秦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを把握させる。</li> <li>・離れた時代の事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像、地図を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラーム世界</li> <li>・ヨーロッパ世界</li> <li>・宋・元</li> <li>・大航海時代</li> <li>・ルネサンス</li> <li>・宗教改革</li> <li>・絶対王政</li> <li>・17～18世紀の西欧文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発化し、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。</li> <li>・アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したとともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</li> <li>・離れた時代の事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像、地図を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業革命</li> <li>・アメリカ独立戦争</li> <li>・フランス革命</li> <li>・ウィーン体制</li> <li>・19世紀の欧米文化</li> <li>・オスマン衰退</li> <li>・清の滅亡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したとともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</li> <li>・離れた時代の事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像、地図を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。</li> </ul>

令和7年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2単位
学科・類型		普通科Ⅱ・Ⅰ類		学年	第2学年
使用教科書		高校生の地理総合 帝国書院			
使用副教材等		高校生の地理総合ノート			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する。</p> <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。</p>
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球儀と地図</li> <li>・地図と地理情報システム</li> <li>・現代世界の国家と領域</li> <li>・地図から見る国内や国家間の結びつき</li> <li>・生活文化の多様性</li> <li>・世界の地形と人々の生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の歴史や用途に沿って作られた地図、現代世界の地図を学ばせ、地理的事象をとらえるための技能を身につけさせる。</li> <li>・自然環境の多様性を学び、人々の生活との関連性を理解する。</li> <li>・規模の大きな事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の気候と人々の生活</li> <li>・世界の産業と人々の生活</li> <li>・世界の宗教・民族・言語と人々の生活</li> <li>・多様な生活文化と地理的環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の社会環境をさまざまな角度から学び、理解させる。その中で起こる問題について知り、考察することで問題解決に取り組む力を培わせる。</li> <li>・規模の大きな事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑に絡み合う地球的課題</li> <li>・人口問題</li> <li>・食料問題</li> <li>・都市・居住問題</li> <li>・感染症・衛生問題</li> <li>・資源・エネルギー問題</li> <li>・地球環境問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の社会環境をさまざまな角度から学び、理解させる。その中で起こる問題について知り、考察することで問題解決に取り組む力を培わせる。</li> <li>・規模の大きな事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。</li> </ul>

令和7年度 学習指導計画

教科	公民	科目	倫理	単位数	2単位
学科・類型		普通科Ⅱ・Ⅰ類		学年	第2学年
使用教科書		実教出版『高校倫理』			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	各時代の宗教や思想を学び、自らの日常生活に生かし、考え方の幅を広げ、豊かな生活や思考につなげる。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年と自己実現 (青年期とはどういう時期なのだろう、現代社会と青年期の生き方、はたらくこと・社会とかかわること、日本の生活文化伝統思想)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期の真ただ中である生徒に、現在自分の置かれている状況を理解し、自分の生き方について思考させる。その上で、生徒自身の夢や将来に関する自分なりの気づきをさせ、進路実現に活かせるよう授業を行う。</li> <li>・現代社会が抱えている様々な問題の現状と課題を把握させる。</li> <li>・青年期の特徴について主に心理学的な視点から自分が現在おかれている状況を理解させる</li> <li>・青年期が延長されている現状を把握し、モラトリアムの問題点と意味について考えさせる。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間としての自覚 (ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想)</li> <li>・国際社会に生きる日本人としての自覚 (日本の風土と伝統、外来思想の受容、町人意識のめざめと庶民思想、西洋思想との出会い)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の精神的特性が、日本人の風土とどのように関連しているかを考える。</li> <li>・書籍や聞き取り調査などから日本の神話や伝承に関する諸資料を収集し、古代の日本人がどのような倫理意識も持っていたかを理解する。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代に生きる人間の倫理 (人間の尊厳、近代の科学革命と自然観、自由で平等な社会の実現、人間性の回復と主体性の確立、現代の思想と人間像、生命への畏敬と社会参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の尊厳に関わる思想家の思索を通して、西洋の近代人は人間の尊厳をどこに見出していたのかを考える。</li> <li>・現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について考える。</li> <li>・先哲の思想の中から、人間の尊厳に関わる資料を収集し、活用する。</li> </ul>

令和7年度 学習指導計画

教科	公民	科目	社会探究	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類		学年	第2学年
使用教科書					
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>①自らの興味関心や身の回りにある社会問題に目を向けて自らのテーマや課題を設定する、②設定したテーマや課題に沿った知見や情報を収集しその現状や背景を整理する、③様々な調査方法を用いて具体的な問題解決に向けた検討や考察を行う、④調査結果を論理的にまとめ分かりやすくアウトプット(表現)する、という一連の営みと定義し、探究に関するスキルとマインドを実践的に学ぶことを目的とする。</p>
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>★探究とは何か まち散策</li> <li>★集めた素材の整理</li> <li>★問いつくりの基礎</li> <li>★文献調査の方法 調査結果まとめ ふりかえり</li> </ul>	<p>1学期には、自分の興味関心や身の回りにある社会課題に目を向けて、(個人で) 調査し、考察をおこない、論理的にまとめてアウトプットするという一連の活動を体験しながら「探究とはなにか」を学ぶ。</p>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>★インタビュー、アンケートの進め方</li> <li>★問いつくりワークショップ</li> <li>グループ探究活動計画</li> <li>グループまち散策①</li> <li>グループまち散策②</li> <li>★集めた情報の分析方法</li> <li>★プレゼン資料のまとめ方</li> </ul>	<p>2学期は、グループで問いつくり、調査計画を立て、集めた情には、を整理・分析し、論理的にまとめる活動をおこなう。探究活動の質を上げる技能を身につける。</p>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>★プレゼン大会①</li> <li>★プレゼン大会② りかえり</li> <li>★計画案の相互批評 計画案の作成・完成</li> </ul>	<p>3学期には、3年生でおこなう「コース別探究」の探究計画を個人で立てる。</p>

